さのびでまなぶ

注目のイベント

講演会「己を貫いた画家・一念と丘人」

同時代に生き、ともに静岡にゆかりの洋画家・曾宮一念と、日本画家・山本丘人。この二人の作品を、なぜ一つの展覧会で紹介しようと考えたのでしょうか。共通する魅力、興味深い相違点、それぞれの人生。展覧会監修者が二人の作家に迫ります。

日時：9／12（土）　14：00～16：00
講師：金原宏行
　　（本展監修者、豊橋市美術博物館館長）
会場：佐野美術館講堂
定員：60名
聴講料：500円
※要申込・先着順

山本丘人《満月夜》
昭和38年（1963）
箱根・芦ノ湖 成川美術館蔵

日本画入門 ～季節の野菜を描いてみましょう

講師の金子朋樹氏は、御殿場出身の日本画家です。精力的な作家活動をするかたわら、東北芸術工科大学の日本画コース講師を務めるなど後進の指導も行っています。画材の紹介、道具の扱い方から彩色のポイントまで、楽しく学ぶ初心者向け日本画講座です。

日時：9／19（土）　13：30～16：30
講師：金子朋樹（日本画家）
会場：佐野美術館講堂
定員：20名
参加費：3,500円
※要申込・先着順
※小中学生対象の絵画講座「夏休みの思い出を描こう」も、同日（10：00～12：00、参加費1,500円）に開催します。

その他のイベント

2015.8-9

曾宮一念と山本丘人―海山を描く、その動と静会期中

- 8／29（土）、9／5（土）、26（土）　担当学芸員のギャラリートーク
- 毎週土曜日　仏像解説ボランティアのギャラリートーク

常設展示室

平成27年度常設展示室ケース、
第二期【6／6（土）― 8／17（月）】
第三期【8／22（土）― 11／23（月・祝）】のご案内です。

名槍　蜻蛉切　大笹穂槍　銘　藤原正真作（室町時代）

展示予定作品

第二期テーマ／切れ味優れる日本刀

- 短刀　銘　村正
- 短刀　銘　村正
- 刀　銘　和泉守兼重
  金象嵌銘　胴三重同時二度打落
  前代未聞剣山野勘十郎切之（花押）
- 短刀　銘　長曽祢興里作
- 刀　銘　於江府長運斎綱俊
  弘化二年十一月二十六日
  於千住二ツ胴土檀払切テ山田五三郎

第三期テーマ／刀剣と信仰

- 短刀　銘　神息　梵字

重要美術品

- 太刀　銘　来国俊　素剣
- 短刀　銘　信国　倶利伽羅龍透彫
- 大笹穂槍　銘　藤原正真作（号　蜻蛉切）　梵字
- 脇指　銘　於大阪和泉守国定　倶利伽羅龍
- 脇指　銘　大慶直胤（花押）／
  文化十四年仲秋　雨龍

新収蔵品より　小林古径（こばやしこけい）　ぶどう

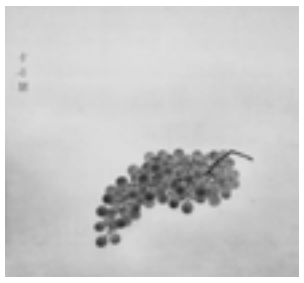
大正14年（1925）絹本着色　1幅

柔らかな光に包まれた一房の葡萄（ぶどう）が描かれています。薄紫色の一粒一粒には、墨色の陰影が丹念に施され、粒をかたどる線はごく細く柔らかく、粒の内に充満する果汁をも感じさせます。薄墨のみの背景が、葡萄の存在感を際立たせています。

小林古径（明治16・1883年～昭和32・1957年）は日本美術院で活躍した日本画家です。39歳のとき、日本美術院の創立25周年記念事業として欧州への視察旅行が企画され、前田青邨（せいそん）とともに選ばれて半年間の旅へ赴きました。旅の途上、大英博物館で中国絵画の最高傑作《女史箴図巻（じょししんずかんでんこがいし）》（伝顧愷之筆）を実見し、「高古遊絲描（こうこゆうしびょう）」と呼ばれる肥瘦（ひそう）のない描線を写し取る機会を得ました。

《ぶどう》は視察旅行から2年後に制作されました。《女史箴図巻》から学び、単なる輪郭線ではない、内なる命をも描き出す線を自らのものとした古径42歳の作品です。

（学芸グループ主任　河内えり子）



連載 其の十七

渡邉妙子館長の

ひとことといいかしら？

お盆

お盆になると、幼いころ、父から聞いた昔話を思い出す。

母親に先立たれた小さな女の子の話。母親がほかほかと湯気のたったお饅頭（まんじゅう）を食べようと口に近づけると、パッと真っ赤な炎に化してしまう。「お母さん！」と叫ぶと自分の声で目が覚めた。そして、一晩中に何度も夢をみて「母さん！」と叫んでは目を覚ます。あの夢は確かに痩せ細った母の顔。女の子は泣きながら近くのお寺に駆け込んで、お坊さんに今朝まで見続けた夢の話をした。

お坊さんは静かに女の子の話を聞くと、「これからお母さんの供養をしましょう」といって、若い坊さんたちと、昼も夜もお経を上げ続けたのでした。そして、女の子の小さな肩を抱きながら「さあ、もう大丈夫、お家でゆっくりお休みなさい」と。その夜、女の子の夢に現れたお母さんは、優しいお顔で蓮の花に座っていた。

盂蘭盆（うらぼん）の、祖先の冥福を祈り、餓鬼の苦しみから救う行事の話。饅頭が真っ赤な炎になるイメージは年老いた今も鮮烈に焼きついている。

お盆に関する昔話がもう一つ。お盆には祖霊をお迎えして、お送りするため、乗り物としてキュウリ・ナスなどに割り箸で四足を作って、お供えした。そして、それらを川へ流した。

すると、川下でひたすら、キュウリやナスを拾い上げている人がいた。よく見ると坊さんである。大きな樽に拾い上げたキュウリやナスを入れて、塩をふり、漬物を作っていたのである。そしてその秋、天候不順で飢饉となり、その漬物が生きている人々の命を救った、と。

坊さんの名は沢庵和尚。沢庵漬は沢庵和尚の逸話から生まれた、と。

TULLY'S COFFEE

Welcome to Tully's Coffee
タリーズの１杯が満たされた
空間を演出します

タリーズコーヒー
（沼津店）
沼津市高島本町１－５
イシバシプラザ B1F
アネックス F2

INFORMATION 2015.7-9　展覧会スケジュール

さんしんギャラリー 善

さんしんギャラリー 善は、伊豆・県東部の創作活動を支援する目的で、三島信用金庫が100周年記念事業の一環として開設しました。佐野美術館が運営を委託されたギャラリーです。

- 7月　三島信用金庫　夏の特別企画展
- 8月　夏休み子どもワークショップ、作品展
- 9／1（火）～ 9／25（金）　土屋典康（陶芸）

平成26年度　ワークショップの子ども作品展の様子

お問合せ：さんしんギャラリー 善
〒411-0857　静岡県三島市芝本町12-3
TEL 055-991-0034　http://www.sanshin-zen.jp

開館時間：10:00～17:00（入館の受付は16:30まで）
休 館 日：毎週木曜日（祝日の場合開館）／
　　展示替期間中／年末年始

交通案内

JR三島駅南口より
- 南へ 1.3Km左側
- 沼津登山東海バス（4番のりば：新城橋行き又は大平車庫行き）／三島循環バス「せせらぎ号」（1番のりば）で「佐野美術館」下車
- 伊豆箱根鉄道に乗換え「三島田町駅」下車徒歩３分

東名沼津I.C.より
- 伊豆箱根方面へ 8Km、三島玉川交差点を左折、二つ目信号を右折

東名裾野I.C.より
- 南へ 13Km

新東名長泉沼津 I.C.より
- 伊豆箱根方面へ 10km

※駐車場あり。混雑時には市営駐車場（有料）もありますのでご利用ください。

一言コメント「思い出の絵本」：「ぐりとぐら」大好きでした（三島市　Mさん）　「おばけのてんぷら」、このてんぷらがとてもおいしそうに見えました（三島市　Eさん）「100万回生きたねこ」美しい絵がおしゃれですばらしい。我が子と自分に読み聞かせていきたい本です（長泉町　Sさん）

一言コメント「思い出の絵本」：「きょうはなんのひ？」うちの中で宝探しをすることに憧れました（三島市　Iさん）「しろいことり」不思議な絵と話が子ども心に印象的でよく覚えています。大人になって、岸田今日子／作、司修／画ということを知りびっくりしました（静岡市　Fさん）

●次回のお題は「私の人生を変えた本」です。